

ニカラグア定期報告（2018年3月）

【要旨】

外交面では、ニカラグア政府がコスタリカへの補償金を支払い、オルテガ大統領がカラカスで開催されたALBA首脳会合に出席し、アビレス国軍司令官が台湾を訪問した。経済面では、地デジ試験放送実証開始式典が開催された他、最低賃金の引き上げが行われた。

【主な出来事】

1 コスタリカへの補償金の支払い

（１）モンカダ外務大臣は、９日、ゴンサレス・コスタリカ外務大臣に書簡を送付し、「国境地域におけるニカラグアの活動」事件に係る２月２日のＩＣＪ判決に基づき、７日、コスタリカ政府の口座に補償金 378,890.59 米ドルを振り込んだ旨通知した。

（２）ゴンサレス大臣は、「我々は、然るべき額が振り込まれたことを確認した。ニカラグア政府が、ＩＣＪの命令に従い、コスタリカに対する義務を履行したことを嬉しく思う。」、「（今回の支払いは）両国が、両国国民の利益のために、徐々により良い関係を築いていくことに資するだろう。」と述べた。

2 オルテガ大統領のALBA首脳会合出席

（１）オルテガ大統領は、チャベス前ベネズエラ大統領の命日である５日にカラカスで開催された第１５回ALBA首脳会合に出席した。オルテガ大統領は、同会合での演説において、５月に予定されているベネズエラ大統領選挙に言及し、「ベネズエラの人々が選挙の前倒しの賛否につき意見を述べるのは当然のことで、我々はそれを尊重しなければならない。ベネズエラの各政党が選挙に参加するかしないかは、彼ら自身の問題である。しかし、外国の政府が口を出し、選挙の実施についてベネズエラ政府を批判するのは不合理で無礼な行為である。」と述べた。

（２）５日、マナグア市内のウゴ・チャベス環状交差点や、サン・イシドロ市のウゴ・チャベス技術センター脇のチャベス像にて、チャベス氏を追悼する各種行事が行われた。ムリージョ副大統領は、定例のＴＶブリーフにて、「チャベスは何処に・・・？（Adonde esta Chavez...?）」と題したチャベス氏を礼賛する自由詩風のメッセージを朗読した。

3 アビレス国軍司令官の台湾訪問

（１）アビレス国軍司令官は、１１日より６日間にわたって台湾を訪問し、１２日、蔡英文台湾総統を表敬した。蔡総統は、台湾・ニカラグア間の軍事交流促進の功績により、アビレス司令官に雲麾勲章特種大綬を授与した。

(2) アビレス司令官は、訪問中、最近創設された軍事勲章「ニカラグアの国家主権の守護者」を厳徳発台湾国防部長に授与した。

4 地デジ試験放送の開始

(1) 21日、マナグア市内で地デジ試験放送実証開始式典が開催され、カスティージョ通信郵便庁(TELCOR)長官、ゴンサレス国家防災対策機構(SINAPRED)長官、日本から来訪した高木総務省国際戦略局次長が出席した。同式典には、TELCOR等政府機関、TV局、通信企業、中米各国の政府機関等からも多くの関係者が出席し、200名弱が集まった。

(2) 式典では、国営放送のコンテンツを地デジ試験放送として会場のエグジビションで放送するとともに、緊急警報放送システム(EWBS)デモ機による緊急警報放送のデモンストラーションが行われた。

5 最低賃金の引き上げ

(1) 9日、労働省は、フリーゾーンを除く9つのセクターの最低賃金につき、3月1日より5.2%、9月1日より更に5.2%引上げる旨決定した(注:通年で約10.67%引上げ)。

(2) 1月11日に最低賃金委員会での協議が開始されたが、同委員会において2ヶ月以内に労使の関係者間で合意が成立しなかったことから、最低賃金法に従い、労働省が引上げ幅を決定した。トーレス労働大臣は、「我々の決定は、企業側の提案、労働者側の提案のいずれにも偏っていない(公平なものである)」と述べた。

<主要経済指標>

	2018 年			2017 年	2016 年
	3 月	2 月	1 月		
インフレ率 (対前年同月)	4.8%	4.8%	5.4%	5.7%	3.1%
貿易収支 (百万ドル)	未発表	△202.3	△253.2	△3,113.1	△3,227.6
輸出 FOB (百万ドル)	未発表	233.5	218.3	2,548.3	2,226.4
輸入 FOB (百万ドル)	未発表	435.9	471.7	5,661.4	5,453.9
海外送金 (百万ドル)	123.6	116.9	112.9	1,390.8	1,264.1
外貨準備高 (百万ドル/期末)	2,892.0	2,813.2	2,782.3	2,757.8	2,447.8

(出典: ニカラグア中央銀行)

(了)